

ありたい姿

- 全世代が手をつなぐまち 八王子
- 多世代の声が聞けて、それぞれが繋がり、笑顔あふれる地域!!



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	高齢者などが子どもに昔遊びを教える会
	交流の場	学校区単位での大運動会で地域のつながりをつくる（駅伝大会のような）
3	子ども・子育て	子どもが本音を言える場づくり
	スポーツ・文化・生涯学習	市外からも人が訪れる音楽祭などのイベント
5	産業振興	大学生等と連携した空き店舗の改修・活用

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	行政職員が地域のことを詳しく知る機会の充実
2	見守り・支え合い	行きたくなる・行かざるを得ない場づくりで、緩やかな見守り活動
3	子ども・子育て	1町内会に1つの子ども食堂をつくる（子どもだけでなく家族が集う）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	世代等に応じた多様な手段による情報発信の充実 SNSや動画の積極的な活用、発信力のある芸能人の活用
	交流の場	子どもから高齢者が集まっての工作や遊びの場 つながりの象徴となる「手つなぎ」の長さのギネスチャレンジ
3	スポーツ・文化・生涯学習	プロスポーツチームをつくる：トレインズへの注目・活用
5	産業振興	全世代が集う「八王子まつり」 ・八王子の産物を集めた八王子マルシェを定期開催（開催場所は移動） ・農家、企業、行政を巻き込んで面白くする
		桑の葉の活用：レシピ普及、学校給食メニューの周知
		タケノコ掘り会（増えてしまう竹林の管理が主だが楽しむ機会をつくる）
6	自然・環境	谷地川に桜を植える会（みんなでの花見を目標に一から育てる）

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	野菜を自ら育てて収穫しみんなで味わうイベント（芋煮会など）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	地域コミュニティの場としての学校（空き教室）の開放・活用
	情報（発信、共有、デジタル化）	市内の活動団体等に関する情報の公開・共有
2	高齢者	高齢者が活用できる行政施設（学校などの既存施設の活用）
3	スポーツ・文化・生涯学習	八王子フェス：音楽祭、八王子出身の有名人が多数出演 八王子アートフェス：大学生を中心に街をアートで飾る、美術館の活用
	学校・教育	学校施設の美化（定期メンテナンス） 学校設備の充実
6	自然環境	さまざまな自然体験の機会 ・子ども向け体験教室（ネイチャーゲーム、保全活動） ・企業向け自然体験講座 ・市民環境会議

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	行政手続きができる窓口を学校に設ける
3	スポーツ・文化・生涯学習	地域の高齢者の学びの場として学校を利用（子どもはオンライン授業も） Jリーグチームの再編成（3チームを1つに統合、市が支援） 世界陸上大会
	学校・教育	オンライン授業の活用
5	産業振興	織物のまちの活用（シルク、養蚕） ・八王子シルクファッションを有名人に着てもらってPR ・絹の道、郷土資料館などを活用した学習プログラムの構築 ・インバウンド向けの活用、PR
6	自然・環境	浅川の整備：BBQ場、川まで下りられる駐車場

校区の特徴

- 「地域主体」や「協働」で取り組むことが多く挙げられ、行政の後押しを受けながら、地域で主体的に課題解決に取り組む意向がある。
- 子どもを地域みんなで育てるために高齢者が子どもに遊びを教える、高齢者中心の活動に現役世代・大学生が参加する、講師になるなど住民間での交流・助け合いを重視している。
- 町会・自治会に入らない住民の増加、地区内のつながりの希薄化に強い危機感を持つ声があった。
- 施設やインフラの整備よりも既存施設の活用、つながりのための場（しかけ）に関する意見が多くあった。

ありたい姿

●石川地区をスマートコミュニティへ
by 路面電車



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	町会間の交流の活発化
		石川町での食事会（交流の場）の開催
3	スポーツ・文化 ・生涯学習	滝山城跡・歴史探訪への参加促進
6	自然・環境	地域里山ボランティアへの参加促進
		市民が利用する場所の環境保全、庭の手入れやビオトープ化

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	見守り・支え合い	地域の見守り活動推進（住民・ファミリーサポーターの登用）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	石川市民センターの充実（自然と人が集まる場づくり）
	情報（発信、共有、デジタル化）	石川地区のホームページやSNSの開設（対内、対外双方）
3	学校・教育	学校の授業に地域の人を講師として招聘
6	自然・環境	北部地区環境市民会議など環境を考える場への参加促進

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	既存施設を地域活動の場に活用（開放）
3	学校・教育	多世代交流で教育を支援（保育園から大学、そして地域を巻き込む）

○「行政主体」&「すぐにできる」

意見なし

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
2	高齢者	公共交通（路面電車など）を充実させ、高齢者の活躍の場の拡大
4	交通インフラ	多摩川右岸のサイクリングロード整備
		スマートモビリティ特区を設け実証実験開始
	路面電車の開通、観光資源化・ブランド力向上	
	都市計画・居住環境	地域中核センター（ショッピングモール）の早期完成
6	自然・環境	「八王子環境賞」の創設

校区の特徴

- 公共交通の充実を求める声が多くあった。
- 地域内でほぼ全ての生活ができるようにしたいという声があった。
- 市民センターの利活用や、図書館などの施設で勉強ができるような環境の整備、多世代を巻き込んだ教育支援体制を求める声があった。

ありたい姿

- 世代をこえて、みどり豊かな住み良いまちで心豊かに生きる
- 笑顔あふれる子どもから大人まで一緒に成長できる加住



★ 2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
3	子ども・子育て	子供を育てる土壌づくり（子育てママの会、地域キッズクラブ、親子で参加できるボランティア）★
	スポーツ・文化・生涯学習	美術館の無料デー・地域開放デーの設置
	学校・教育	通学路の環境整備（草刈りデーをつくるなど）
4	交通インフラ	買い物バスの運行（循環バス）
	安全・安心	通学路での子供の見守り（地域住民による声かけなど）
5	産業振興	畑をやってみたい人たちの町内農業体験会

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	大学生と市民がふれ合う場づくり（学生優遇食堂）（世代間交流）
3	子ども・子育て	子供食堂たちあげ
6	自然・環境	谷地川環境整備（例、谷地川にホテルをとりもどす会の立ち上げ・要望書の提出）★
		防災に強い地域森林の整備（住民主導）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報（発信、共有、デジタル化）	SNS活用（イベント等の発信）
3	学校・教育	子供向けアプリ（タブレットの活用）
		小学校のバスの無償化
5	産業振興	農業ボランティアや学生や若者と農業従事者へのかけはし
		「滝山城主」の一般公募（整備費用の捻出）
		農業と観光での集客
	雇用・就労	在宅ワーク用Wi-Fi整備
		地域内に働ける場所の提供

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	複数の拠点整備（地形が細長く一か所に集まるのが困難である点を解消するため）
2	高齢者	地域の野菜、食材を使った、高齢者の働ける地域食堂
3	学校・教育	小中一貫校の整備（加住小中学校）
4	交通インフラ	バス料金の値下げ
6	自然・環境	谷地川沿い整備（通学路整備・フットライト整備）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
5	雇用・就労	シルバー派遣に年齢制限を作らない（子育て世代でも参加できる有償ボランティア等の整備）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	交通インフラ	モノレールの実現
		気軽に使えるタクシー整備
	都市計画・居住環境	大イベント開催可能な施設づくり（杏林大学跡地の有効活用）
		空地の有効活用（行政による土地の買い上げなど）
5	産業振興	滝山城跡に売店設置
6	自然・環境	下水道整備
		谷地川整備（清掃の立ち入り許可・都と市の連携による環境整備の推進）

校区の特徴

- 子育て支援や自然環境の整備などに地域ぐるみで積極的に関わっていきたいという意見があった。
- デジタルツールの活用や地域単位で集まれる拠点等のインフラ整備を求める声が多くあった。
- 子どもたちが自由に遊べる公園の整備、高齢者や子どもたちのための交通手段の充実に対する意見があった。
- 環境面に関する話題が多く、特に谷地川等の自然は魅力である反面、防災面での課題を感じているという意見があった。